



社協だより

41号

平成25年1月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

双岩小学校6年生 寄付文化を学びました

「募金も大切な地域福祉の活動ということが分かりました」

平成24年11月20日（火）10時15分から11時（3時限目）、双岩小学校で福祉教育が実施されました。
児童のみなさんは、和やかな楽しい雰囲気をつくってくれました。

八幡浜市社会福祉協議会の職員が9名の児童へ「寄付文化」をお話しました。八幡浜市社会福祉協議会で取り組んでいる「まごころ銀行」「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい運動」について、寄付の歴史、思いのこもった募金の使い道、市民主体の活動であることをお話しました。

「寄付文化の歴史にとっても興味をもちました」 長谷 彩那さん

「募金がたくさんの人のために使われていることが分かったので、今後見かけたら募金したいです」 和家 由佳さん

「寄付することが福祉につながっていることがわかりました」 河内 康平さん

「双岩小学校でも募金活動を行うことになりました。募金はいろんな所で使われるので、みんなにも伝えたいと思います」

薬師寺 康輔さん

「募金する人」、「募金をよびかける人」を体験しました



平成24年度 共同募金配分金助成事業2次募集！

八幡浜市共同募金委員会では、平成25年1月7日から平成25年1月31日まで、ボランティア・市民活動の助成資金を申請されるボランティア団体・NPOを公募します。助成団体は、「1年以上の活動実績がある団体」または「1年以内に設立された団体でも、住民の福祉の向上に効果があると認められる活動を計画する団体」としています。（1事業3万円以内を助成します）平成23年度は、各団体に左記のような活動をして頂きました。

- 防災講演（八幡浜市視覚障害者協会）
 - 松山スケート体験（神山おやじ隊）
 - 親子クリスマス会（栗立ちの会）等
- 住民主体の自由な発想で活動を広げていきましょう。

お問い合わせは、八幡浜市社会福祉協議会総務福祉課（23・2940）まで。

赤い羽根共同募金
イメージキャラクター
希望くんと愛ちゃん



ティンカーベルのみなさん、受賞おめでとう



ティンカーベルさん

「悩んでいる人・元気がない人の心を癒すことができればうれしいです」

八幡浜市千丈地区に拠点をおかれるティンカーベルさんが、「子育て家庭を応援」「創意工夫ある子育てを実践」していることが評価され「平成24年度 愛顔の子育て奨励賞」に輝き、愛媛県庁にて中村知事より表彰されました。今回、ティンカーベルさんの活動についてインタビューしました。

活動のきっかけは

平成14年当時、全国的に多くの児童虐待のニュースがあり、私たちは心をいため、子育てが地域の大きなテーマと考えていました。「お母さんと子どもが集まって楽しく遊ぶ場所を地域で作りたい」、「子育てで頑張っている家族を地域ぐるみで支えたい」、「虐待を防ぎたい」という想いをもった、千丈地区の民生児童委員、主任児童委員、食生活改善推進協議会、地区社協で話し合いを行いました。そして、八幡浜市内では第1号となる子育てサロン ミッキーハウスを立ち上げました。子育てサロンでは食育、ハンドベル演奏や朗読などに

取り組んでいます。子育てサロンで取り組む内容の充実のため、立ち上げたグループが、ティンカーベルとして活動しています。

名前の由来は

ピーターパンに出てくる妖精の名前です。信じる心があればどんなこともかまいません。ティンカーベルは壊れたお鍋やフライパンをなおす、金もの修理の妖精です。私たちの活動を通して、悩んでいる人や元気がない人の心を癒したいという想いがこめられています。



子育てサロンの受付中



ティンカーベル

現在のメンバーをご紹介ください

千丈地区で生活する、40代から70代の女性7名で構成されています。みんな、現役の元気な主婦です。元小中学校の先生、歯科衛生士、元民生児童委員、主任児童委員などいろいろな個性の持ち主が集まっています。親子ほど年が離れていたたり、価値観が違ったりしますが、メンバー間で学ぶことがとても多く、尊敬しあっています。長く活動が続く秘訣は「笑顔の輪を広げ、自分たちも楽しもう」です。この活動は本当に楽しいですし、参加しているいろんな特技が増えました。



ハンドベルはチームワークが大切です

活動の頻度は

子育てサロンの準備や保育所・学校・施設などの訪問準備のため、月2〜3回は、千丈地区公民館に集まります。内容のうちあわせ、ハンドベル演奏や朗読劇の練習をします。夜7時に集まり、10時を超えることも少なくありません。

活動内容は

私たちは、ハンドベル演奏、朗読劇、料理、おやつ作り、指遊び、子育て相談などいろいろなことを行います。具体的な活動としては：

- ① 子育てサロン ミッキーハウスの運営
- ② 保育所・学校訪問活動
- ③ 児童クラブ訪問活動
- ④ 児童センター訪問活動
- ⑤ 特別支援学校・特別支援学級訪問活動
- ⑥ 各地域主催のクリスマス会行事の参加や高齢者施設訪問活動

平成22年度西予市で開催された地域応援セミナーや子育てサロン研修会で、活動の報告をさせて頂きました。クリスマスの時期は、多くの方からハンドベル演奏などの依頼を頂き、忙しくも充実した活動をしています。

うれしかったこと

子育てをするお母さんからは、「子育てが楽しくなった」「親子の友だちの輪が広がった」という言葉や手紙を頂きます。子育てする家族と地域との

つながりも出来てきました。まちで、お母さんと子どもとお会いすると、自然に会話ができることもうれしく思います。

また、私たちは「食育」を大切なテーマとしています。ティンカーベルや子育てサロンの活動を通じて、お母さんや子どもの世代に、食育の大切さ、喜びを伝えられることにうれしさを感じています。

活動していく上で課題は

子育てサロンや地域の行事に参加しづらいお母さんや子どもたちに、参加してもらうためにはどうすればよいか悩んでいます。いろんな理由があると思います。でもその方たちの笑顔をみるために、あきらめず、お声かけを続けて行こうと思います。

地域の皆さんへひとこと

ティンカーベルや子育てサロンの活動を行う際、千丈地区公民館近くの駐車場を快く提供して頂き感謝しております。もっと、多くの子育て世代の方やおじいちゃん・おばあちゃん達も気軽に来て頂きますよう、今後ともご協力をお願いします。



折り紙でつくったサンタさんをお土産に頂きました

八幡浜市社会福祉大会のお知らせ

とき 平成25年1月26日(土)
13時30分～16時00分

場所 八幡浜市民会館大ホール

内容 式典・記念講演

講演 「元気な100歳を目指して
～認知症の予防と総合的な体づくり～」

入場無料です。みなさん、ぜひご参加下さい。
詳細・お問い合わせは八幡浜市社会福祉協議会
総務福祉課(23-2940)まで

講師 医学博士
柳本有二氏



【講師の紹介】

神戸常盤大学保健科学部看護学科教授。
専門分野は運動生理学、健康科学、子どもの健康
づくり他
日本テレビ「世界一受けたい授業」、
NHK教育番組「スイエンサー」等多数の番組に
出演される。

平成24年度 福祉後見入門講座 受講生募集

誰もが地域で安心して暮らせることを目指す地域福祉活動として、判断が十分でない人の生活を身近な立場で支援し、後見活動を行っていく「市民後見人」の養成にむけ、福祉後見入門講座を開催します。

ご自身やご家族のための受講も歓迎します。

場 所 八幡浜市保健福祉総合センター
2階 シルバーボランティアルーム

定 員 無料。20名とします。申し込み多数の場合、本会にて選考させていただきます。

申 込 八幡浜市社協総務福祉課
(23-2940)

日 時	内 容
平成25年2月5日(火) 13時00分～16時00分	① 成年後見制度概論
	② 成年後見制度を利用すること
平成25年2月12日(火) 13時00分～16時20分	③ ご本人を理解する(認知症をもつ人)
	④ ご本人を理解する(精神障がいをもつ人)
	⑤ ご本人を理解する(知的障がいをもつ人)
平成25年2月19日(火) 13時00分～16時00分	⑥ コミュニケーションを学ぶ
	⑦ 消費被害と成年後見制度
平成25年2月23日(土) 13時00分～17時00分	⑧ 成年後見制度と八幡浜市の責務
	⑨ 後見人の役割と実務
	⑩ 成年後見人の実践報告

※日程については、変更の可能性があります。

【平成22年・平成23年度の受講生の声】

- 成年後見制度は、地域に広めていきたいです。(60代女性)
- 市民が後見人を担うことは意義あることと思います。(60歳男性)
- 人と人とのつながりの大切さを考えました。(30代男性)

成年後見制度とは…

家庭裁判所より選ばれた成年後見人等が、認知症や知的・精神障がい等により、判断能力が十分でないご本人(＝成年被後見人等)の「財産管理」や「身の上の配慮」など、ご本人の権利をまもる制度で、民法に規定されています。

成年後見人等の約6割は、ご本人の家族が選ばれ、約4割が弁護士や司法書士等の専門職、市民が選ばれています。今後、この制度における市民の役割は大きくなると考えられます。